

## NanoLSI Open Seminar

### 繰り返し模様のデザイン 「生き物はどうやってタイリングパターンを作るか？」

全く同じ模様が繰り返し配置されたタイリングパターンは、エッシャーの作品などの人工的なデザインにかぎらず、自然界の様々な場面でも見られます。例えばミツバチの巣、アルマジロのうろこ、昆虫の複眼など。物理的には六角形の方がより自然で安定であると言われていますが、生物は六角形でも四角形でも、誰が命令したわけでもないのに、自発的にこのようなタイリングパターンを作り出します。本講演では、様々なタイリングパターンを示すショウジョウバエの複眼と数理モデルを組み合わせ、生き物がタイリングパターンを作る仕組みを明らかにします。

#### 佐藤 純 先生

金沢大学 新学術創成研究機構 数理神経科学ユニット  
教授

#### 日時

2019年6月13日(木) 17:00-18:00

#### 場所

金沢大学角間キャンパス  
ナノ生命科学研究所1階セミナー室

【お知らせ】 セミナー後に懇親会を行います。

参加ご希望の方は奥田(satokuda@staff.kanazawa-u.ac.jp)までご連絡ください。



金沢大学  
KANAZAWA  
UNIVERSITY

#### 【主催】

金沢大学ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI)

#### 【お問い合わせ】

ナノ生命科学研究所  
奥田 覚 076-234-4579